

F. ショパン, 全作品の和声分析(II) “ワルツ”

中山 孝 史

An Analysis of Harmony of F. Chopin's Complete Works (II) “Walzer”

Takashi NAKAYAMA

(Received September 4, 1995)

序

今稿では前稿^{註1)}の“マズルカ”に続き“ワルツ”の和声分析を行う。使用楽譜は《ショパン ワルツ ヘンレ原典版》(音楽之友社出版 昭和60年8月10日)である。従来の14曲しか収められていない版に較べると遺作の配列が少し違うので注意されたい。又、レコード、CD全集などとの配列^{註2)}も違う所がある。

前稿の〈序〉^{註1)}で今後行う和声分析の基本的な方法論を述べたが、ここでは少し補足しておく。

まず第一に調性決定に関して述べる。ショパンの音楽は全て調性音楽に属しているという立場で和声分析している訳であるから、全ての和音に対して何調であるかを明示しなければならない。ここで問題になるのは転調に関しての事である。一つの曲の中で部分的にその曲の主調と違う調が出現するのは日常茶飯事の事であるが、それを部分転調と見なすか、主調の中で和音記号を使って処理するかという問題である。基本的には音楽構造は複数の楽節から成るのが通常であるから、大きな枠組の調性は簡単に理解できるが、一つの楽節の中に於ける小さな変化をどう捕えるかは少しやっかいな問題となる。和音記号で例を示す。

$$\textcircled{1} C: I \text{ IV } \overset{\text{II}}{\text{IV}} \overset{\text{II}}{\text{V}} \text{ II } \text{ V } I$$

$$\textcircled{2} C: I \left\{ \text{IV} \quad \text{IV } \overset{\text{II}}{\text{V}} \right\} \left\{ I \quad \text{V } I \right. \\ d: \left\{ I \text{ } \nearrow \quad C: \left\{ \text{II } \nearrow \right. \right.$$

①も②も実際は同じ事であって、どちらが正解という問題ではないが、 $\overset{\text{II}}{\text{IV}}$, $\overset{\text{II}}{\text{V}}$, $\overset{\text{II}}{\text{IV}}$, $\overset{\text{II}}{\text{V}}$, $\overset{\text{IV}}{\text{V}}$ 等の記号を使用する事の便利さと複雑さが同居している結果生じる問題と成っている訳で、楽式的な捕え方によって両方使い分ける事が“ベター”な方法と言えよう。だから同じ曲を和声分析しても、人によっては違う表記がでてくるが、これは大げさに言えば感性の分野に属する事かも知れない。(同じ曲を違った演奏家が演奏すれば違った演奏になるように。)筆者も以下の分析でどちらの表記が“より良い”か迷った所もあるが、楽式的見地や和声進行の合理性といった所から表記しているから、その意を汲んで見てもらいたい。細かい所は分析箇所“註”として

示す。

次に第二の問題を提示する。譜例①、②を見てもらいたい。

譜例 1)

①

C : I² V₇ I

譜例 2)

②

C : I² V₃ I

譜例①は問題なく誰でもそう和音分析する所であろう。だが譜例②はどうであろうか？まずは譜面上だけの和音記号を示して見たがその結果 $V_3 - I$ という進行が生じている。これはこれでそう認識するならば全ては終りかも知れないが、ワルツ(3拍子、左手による伴奏様式)では大抵伴奏部では第1拍に和音の根音に当る音を単音で与え、第2拍第3拍でその和音の構成音を複数で示す形が多く(分散和音の形態もあるが、その際にも Bass 音がその和音の根音となる。)その Bass 音が第1拍から第3拍まで支配していると見るのが妥当な所である。しかし、譜例②の形も出てくる。実際ピアノで演奏する場合、この1小節全部を延長ペダルで踏む事はない。何故なら2拍目のE音C音と3拍目のF音H音が不協和を生じるからである。通常は2拍目でペダルを切る事になるから3拍目は確かにF音H音しか響かない。つまり V_3 の響きがそこには存在する事になる。すると $V_3 - I$ という和声進行が生じる訳だが、通常和声の教科書では V_3 の和音は I^1 に行きなさいと教えているから(属七の和音の第7音は2度下降して解決する。)^{註4)}これは新しい和声進行であるのか？先程ワルツの様式として第1拍目に Bass 音を打ち、第2、3拍目でその和音の構成音の複数で構成された響きを持ってくるという形が一般的であると述べた。確かにそれが通常よく知られている、よく耳にする様式であろう。しかし譜例②の様に2拍目と3拍目で和音が変わる場合だってある訳で、その時の分析の対応を決めておかねばならない。この場合 I^2 を倚和音として扱えば譜例②の和声進行は $V_7 - I$ という形に落ち着いてしまうが、 I^2 という和音はどの和声の教科書を見ても一つの和音として市民権を持っていて、倚和音として和音記号を与えない解釈は当を得ない。それ故次の解釈が出てくる。譜例②の第1拍G音は第3拍には存在しないし、実際ピアノで演奏する場合でも延長ペダルを使用しない限りは鳴り響かない訳であるが、ワルツの“様式上”の慣例として第1拍の Bass 音は第3拍にも意識の中にあるのではないか。そう考えるならば Bass 音G音は第3拍にもあるものとしてこの和音は V_7 と考えてはどうであろうか？筆者は前稿“マズルカ”では形だけの分析処理を行ったが、ここでは違った解釈を提示する。この問題は現在の時点ではこのままにしておくが全作品を分析した後今一度考慮する事にする。

次にワルツの和音分析をする過程に於いて生じたやっかいな問題をもう一つ取り上げる。それは V_9 (属九の和音)である。ショパンのワルツの特長ともいえるこの V_9 はしばしば耳にする。マズルカに較べたら(特に長調の場合)はるかに多くの V_9 の記号を以下目にするはずである。 $V_9 - I$ という単純な進行であれば問題はないが、 $V_9 - V_7$ という進行が非常に多くその形態も様々である。多くは旋律進行に依るものであるが以下譜例③で示す。

譜例 3)

The musical score consists of four systems of piano accompaniment. The first system (measures 76-80) features a complex texture with many chords, some marked with asterisks and 'Red.'. The second system (measures 81-85) starts with a piano (*p*) dynamic and includes fingerings (1-4) and a 'Red.' marking. The third system (measures 86-90) includes a forte (*f*) dynamic and 'Red.' markings. The fourth system (measures 91-95) continues with 'Red.' markings and fingerings. The key signature has three flats, and the time signature is 3/4.

これはワルツ第2番 op 34 の1の一部である。第79小節～第80小節の進行は $V_9 - V_7 - I$ で良いが第81小節～第82小節をどう解釈したか以下述べる。

ここは2小節で一つの集合体を成しているがこの2小節の音全てをまとめると(装飾音符を除く) $Des\ dur$ の V_9 を構成する事となりそれで済ませる事もできるが、右手が16分音符である最後の和音に注目して欲しい。ここの和音は V である。メロディーラインを見ると(移動ド唱法で言えば)この2小節の動きは、ラからソへの反復運動を行い、ついにはソで解決していると理解できる。そのメロディに付随する和音もそういう動きに一致している訳で、 $V_9 - V$ の進行で V_9 の和音が解決したと解釈するのが妥当であろう。

又、第86小節～第87小節の動きを見て欲しい。第86小節の第1拍は V_7 で問題なく、第2拍は V_9 であるがこの和音の解決は次の第87小節の第2拍で経過和音をはさんで行われている。つまり V_9 の和音は $V_{(7)}$ か I への解決が主であると見れる訳で、ショパンのワルツの中でかなり多く見られる形である。この他にも V_9 の和音に関しては種々出てくるが、個々説明すべき所は“註”で示していく。

以下ショパンのワルツ全19曲の和音分析を記す事にする。

ワルツ第1番 op. 18

$\frac{3}{4}$ ①②③④⑤⑥⑦⑧ ^{註8)}⑨ ⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ ⑰ ⑱⑲¹|| ²⑳ ㉑㉒

Es: ————— V₇ I V₇^{IV} V₇ ∘ V₉^{II} II III^I I² V₇ I V₇ I V₇^{IV} V₇ ∘ V₉^{II} II III^I I² V₇ I

As: { I V⁷ I I
V ↗

^{註9)}⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞ ㉟㊱㊲㊳㊴ ㊵ ㊶㊷㊸㊹㊺㊻㊼㊽㊾

— I ∘ V₉^{II} I² V₇ I I I — I ∘ V₉^{II} I² V₇ I

Es: { VI^I V₇ I V₇^{IV} V₇ ∘ V₉^{II} II III^I I² V₇ I V₇ I V₇^{IV}
II^I ↗

⑴⑵ ⑶⑷ ⑸⑹ ⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

∘ V₉^{II} II III^I I² V₇ { I V₇ I I — I ∘ V₉^{II} I² V₇ I I I — I ∘ V₉^{II} I V₇ { I V₇ V₇ I I V₇

As: { V ↗ Des: { V ↗

⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

V₇ I I V₇ V₇ I I III^I I² V₇ I { I V₇ V₇ I I V₇ V₇ V₇ I V₇ V₇ I I V₇ V₇ I — V₇ V₇ I

As: { IV ↗

⑴⑵⑶⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

I V₇ V₇ V₇ I V₇ V₇ I I III^I I² V₇ I V₇^{IV} V₇^{IV} IV III^I V₇ V₇ V₇ I V₇^{IV} V₇^{IV} IV III^I V₇ V₇ V₇ I I

⑴⑵ ⑶⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

{ VI V₇ I III^I I² V₇ I I I V₇^I I III^I I² V₇ { I — V₇^{IV} V₇^{IV} IV III^I V₇ V₇ V₇ I V₇^{IV} V₇^{IV} IV III^I V₇

b: { I ↗ Des: { VI ↗

⑴⑵ ⑶⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

V₇ V₇ I { I I^I III^I V₇ I I^I III^I V₇ I I^I III^I V₇ I I^I III^I V₇ I Es: V₇ — V — V₇ — V — V₇ I

Ges: { V ↗

⑴⑵ ⑶⑷⑸⑹⑺⑻⑼⑽⑾⑿ⓀⓁⓂⓃⓄⓅⓆⓇⓈⓉⓊⓋⓌⓍⓎⓏⓐⓑⓓⓔⓕⓖⓗⓘⓙⓚⓛⓜⓝⓞⓟⓠⓡⓢⓣⓤⓥⓦⓧⓨⓩ⓪⓫⓬⓭⓮⓯⓰⓱⓲⓳⓴⓵⓶⓷⓸⓹⓺⓻⓼⓽⓾⓿

V₇ V₇^{IV} V₇ ∘ V₉^{II} II I² V₇ I V₇ I V₇ V₇^{IV} V₇ ∘ V₉^{II} II I² V₇ I

As: { V ↗

⑳㉑㉒ ㉓㉔㉕㉖ ㉗㉘㉙㉚㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

$$I^2 V_7 I \left\{ \begin{array}{l} VI^1 V_7 I V_7^1 \check{V}_7 \circ \check{V}_9^1 II I^2 V_7 I V_7 I V_7 \check{V}_7 - \circ \check{V}_9^1 II I^2 V_7 - I \longrightarrow \check{V}_7 \\ Es: II^1 \nearrow \end{array} \right.$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

$$\check{V}_7 IV^2 IV^2 IV^2 IV^2 \circ \check{V}_9 \longrightarrow \check{V}_7 \circ IV_{+6} \check{V}_7 - \circ IV_{+6} I V_7 I V_7 \check{V}_7 IV \circ IV I I V_7 I \circ V_9 I V_7$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹㊺

$$I V_9 I V_9 \longrightarrow \circ \check{V}_9^1 - I^1 \longrightarrow I I^1 I^2 I I^2 I^1 I^2 I^1 - I I \rightarrow$$

ワルツ第2番 op. 34 の1

$\frac{3}{4}$ ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯ || : ⑰⑱⑲ ㉑㉒㉓㉔㉕
 As: $- V_7 V_7 V_7^1 - V_7 V V_7^2 - V_7 \longrightarrow I IV V_7 \left\{ \begin{array}{l} I I \Pi^1 V_7 \\ Es: IV \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I V_9 I \\ As: V \nearrow \end{array} \right.$

㉖㉗ ㉘㉙㉚㉛ ㉜ ㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

$$\Pi^1 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I I \Pi^1 V_7 \\ Es: IV \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I I^2 V_9 V_9 V_9 I^2 V_9 V_9 V_9 V_7 I V_9 V_9 V_9 I^2 V_9 V_9 V_9 V_7 I I \check{V}_7 IV \\ As: V \nearrow \end{array} \right.$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

$$\check{V}_7 IV \check{V}_7 V \check{V}_7 V V_7 I^2 V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow V_9 V_7 I \check{V}_7 IV \check{V}_7 IV \check{V}_7 V \check{V}_7 V V_7 I^2 V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow V_9 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \\ Des: V \end{array} \right.$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

$$\nearrow V_9 V_9 V I \rightarrow V_7 V_7 V_9 I I V_9 V_9 V I \check{V}_7^3 \check{V}_7 \check{V}_7 V_7 \circ V_9 V_7 I V_9 V_9 V I \rightarrow V_7 V_7 V_9 I I V_9$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

$$V_9 V I \check{V}_7 \check{V}_7 V_7 \circ V_9 V_7 I b: V_9 I^2 VI V \circ \check{V}_9^1 V \circ \check{V}_9^1 V V_9 I^2 VI V \circ \check{V}_9^1 V \circ \check{V}_9^1 V Des: V_9 V_9 V$$

㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴㊵㊶㊷㊸㊹ ㉛㉜㉝㉞㉟㊱㊲

$$I \rightarrow V_7 V_7 V^9 I I V_9 V_9 V I \check{V}_7 \check{V}_7 V_7 \circ V_9 V_7 I \check{V}_7 IV \check{V}_7^1 IV \check{V}_7^1 V \check{V}_7^1 V V_7 I V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow V_9 V_7$$

①60 ①61 ①62 ①63 ①64 ①65 ①66 ①67 ①68 ①69 ①70 ①71 ①72 ①73 ①74 ①75 ①76 ①77 ①78 ①79 ①80 ①81 ①82 ①83 ①84 ①85
 $I \check{V}_7 IV \check{V}_7^1 IV \check{V}_7^1 V \check{V}_7 V V_7 I V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow V_9 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad I IV V_7 \\ As: \{ IV \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad I \Pi^1 V_7 \\ Es: \{ IV \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad V_9 I \\ As: \{ V \nearrow \end{array} \right.$

①86 ①87 ①88 ①89 ①90 ①91 ①92 ①93 ①94 ①95 ①96 ①97 ①98 ①99 ②00 ②01 ②02 ②03 ②04 ②05 ②06 ②07 ②08 ②09 ②10 ②11 ②12 ②13
 $\Pi^1 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad I \Pi^1 V_7 \\ Es: \{ IV \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad I^2 V_9 V_9 V_9 I^2 V_9 V_9 V_9 V_7 I V_9 V_9 V_9 I^2 V_9 V_9 V_9 V_7 I \check{V}_7 IV \check{V}_7 IV \check{V}_7 \\ As: \{ V \nearrow \end{array} \right.$

②14 ②15 ②16 ②17 ②18 ②19 ②20 ②21 ②22 ②23 ②24 ②25 ②26 ②27 ②28 ②29 ②30 ②31 ②32 ②33 ②34 ②35 ②36 ②37 ②38 ②39 ②40 ②41 ②42 ②43 ②44
 $V \check{V}_7 V V_7 I^2 V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow V_9 V_7 I \check{V}_7 IV \check{V}_7 IV \check{V}_7 V \check{V}_7 V V_7 I^2 V_7 I \Pi_7^1 \rightarrow \Pi_7^1 \rightarrow \check{V}_7^1 \rightarrow \check{V}_7^1 \rightarrow \circ \check{V}_9^1$

②45 ②46 ②47 ②48 ②49 ②50 ②51 ②52 ②53 ②54 ②55 ②56 ②57 ②58 ②59 ②60 ②61 ②62 ②63 ②64 ②65 ②66 ②67 ②68 ②69 ②70 ②71 ②72
註11)
 $I^2 I \circ \check{V}_9^1 \check{V}_7 \Pi \circ IV^2 \circ V_9^1 V_7^2 I I^2 I \check{V}_7 \Pi \circ \Pi_7^2 \circ V_9 V_7 I \circ \check{V}_9^1 \Pi \circ \check{V}_9^1 \text{III} \circ \check{V}_9^1 IV \circ \check{V}_9^1 V_7$ 註12) 註13)

②73 ②74 ②75 ②76 ②77 ②78 ②79 ②80 ②81 ②82 ②83 ②84 ②85 ②86 ②87 ②88 ②89 ②90 ②91 ②92 ②93 ②94 ②95 ②96 ②97 ②98 ②99 ③00 ③01 ③02 ③03 ③04 ③05
 $\circ \check{V}_9 \longrightarrow V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I I \longrightarrow I I I I I \text{---} I^1 I$

ワルツ第3番 op. 34 の2

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚
 $a: I \underset{\text{①}}{IV}_{+6} I \underset{\text{①}}{IV}_{+6} I^2 \circ \check{V}_9 V_7 V_7 I \underset{\text{①}}{IV}_{+6} I \underset{\text{①}}{IV}_{+6} I^2 \circ \check{V}_9 V_7 I I V_7^2 \check{V}_9^2 VI^2 \check{V}_7^1 IV IV^1 V_7 I V_7^2 \check{V}_9^2 VI^2$

②9 ③0 ③1 ③2 ③3 ③4 ③5 ③6 ③7 ③8 ③9 ④0 ④1 ④2 ④3 ④4 ④5 ④6 ④7 ④8 ④9 ⑤0 ⑤1 ⑤2 ⑤3
 $\check{V}_7^1 IV \check{V}_7^2 IV^1 V_7^1 I V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad V_9^1 I V_7 I \\ C: \{ VI \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} VI \quad V_7 I V_7 \\ a: \{ I \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad \Pi_7 V_9 I V_7 I \\ C: \{ VI \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} VI \quad V_7 I V_7 \\ a: \{ I \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \rightarrow \quad I \\ A: \{ V_7 \nearrow \end{array} \right.$

⑤4 ⑤5 ⑤6 ⑤7 ⑤8 ⑤9 ⑥0 ⑥1 ⑥2 ⑥3 ⑥4 ⑥5 ⑥6 ⑥7 ⑥8 ⑥9 ⑦0 ⑦1 ⑦2 ⑦3 ⑦4
 $\check{V}_7 \Pi^1 \Pi_7^1 V_7 \circ \check{V}_9^1 VI V V_7^3 \check{V}_7 VI \Pi^1 \Pi V_9^1 \check{V}_7 I \Pi_7^1 V_7 \circ VI \circ \check{V}_9^1 I^2 \text{---} V_9 I a: I -N^1 V_7 VI V_7 V_7^3 I$

⑦5 ⑦6 ⑦7 ⑦8 ⑦9 ⑧0 ⑧1 ⑧2 ⑧3 ⑧4 ⑧5 ⑧6 ⑧7 ⑧8 ⑧9 ⑨0 ⑨1 ⑨2 ⑨3 ⑨4 ⑨5 ⑨6 ⑨7 ⑨8 ⑨9 ⑩0 ⑩1 ⑩2
 $-N^1 V_9 V_7 I -N^1 V_7 VI \circ \check{V}_9^1 I^2 \text{---} V_9 I I V_7^2 \check{V}_9^2 VI^2 \check{V}_7^1 IV IV^1 V_7 I V_7^2 \check{V}_9^2 VI^2 \check{V}_7^1 IV \check{V}_7^2 IV^1 V_7^1 I$

⑩3 ⑩4 ⑩5 ⑩6 ⑩7 ⑩8 ⑩9 ⑪0 ⑪1 ⑪2 ⑪3 ⑪4 ⑪5 ⑪6 ⑪7 ⑪8 ⑪9 ⑫0 ⑫1 ⑫2
 $V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad V_9^1 I V_7 I \\ C: \{ VI \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} VI \quad V_7 I V_7 \\ a: \{ I \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad \Pi_7 V_9 I V_7 I \\ C: \{ VI \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} VI \quad V_7 I V_7 \\ a: \{ I \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} \rightarrow \quad I \check{V}_7 \Pi^1 \Pi_7^1 \\ A: \{ V_7 \nearrow \end{array} \right.$

(123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139) (140) (141) (142) (143) (144)
 $V_7 \circ \check{V}_9^1 VI V V_7^3 \check{V}_7^1 VI \Pi^1 \Pi V_9 \check{V}_7 I \Pi_7^1 V_7 \circ VI \circ \check{V}_9^1 I^2 - V_9 I a : I - N^1 V_7 VI V_7 V_7^3 I^1 - N^1 V_9 V_7$

(145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (162) (163) (164) (165) (166) (167) (168) (169) (170)
 $I - N^1 V_7 VI \circ \check{V}_9^1 I^2 - V_9 I I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I^2 \circ \check{V}_9^1 V_7 V_7 I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I^2 \circ \check{V}_9^1 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I - V_9 V_7^2 I^1 \\ C : \left\{ VI \nearrow \right. \end{array} \right.$

(171) (172) (173) (174) (175) (176) (177) (178) (179) (180) (181) (182) (183) (184) (185) (186) (187) (188) (189) (190) (191) (192)
 $I^2 V_7 V_7^1 I a : V V_7^2 I^1 I \check{V}_7^2 \check{V}_7^2 \left\{ \begin{array}{l} V - I V_7^{-3} V_7^{-3} V_7^1 I I V_7^{-3} V_7^{-3} V_7 I I \left\{ \begin{array}{l} I - I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} \\ E : \left\{ \begin{array}{l} I \nearrow \\ a : \left\{ \begin{array}{l} V \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right.$

(193) (194) (195) (196) (197) (198) (199) (200) (201) (202) (203) (204)
 $I^2 \circ \check{V}_9^1 V_7 V_7 I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I \underset{\textcircled{1}}{IV}_{+6} I^2 \circ \check{V}_9^1 V_9 I$

ワルツ第4番 op. 34 の3

$\frac{3}{4}$ (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9) (10) (11) (12) (13) (14) (15) (16) (17) (18) (19) (20) (21) (22) (23) (24) (25) (26) (27)
 $F : V_7 \longrightarrow \longrightarrow \longrightarrow \longrightarrow \longrightarrow I IV^2 I IV^2 I IV^2 I V_7 V_7 I I I IV^2 I IV^2 I$

(28) (29) (30) (31) (32) (33) (34) (35) (36) (37) (38) (39) (40) (41) (42) (43) (44) (45) (46) (47) (48) (49) (50) (51) (52) (53) (54)
 $IV^2 I V_7 V_7 I \rightarrow I I IV^2 I IV^2 I V_7 V_7 I I I IV^2 I IV^2 I IV^2 I V_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I - IV^1 V_7^1 I \Pi^1 I^2 I^2 \\ B : \left\{ \begin{array}{l} V \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$

(55) (56) (57) (58) (59) (60) (61) (62) (63) (64) (65) (66) (67) (68) (69) (70) (71) (72) (73) (74) (75) (76) (77) (78) (79) (80) (81) (82) (83) (84)
 $V_7 I IV^1 V_7^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_9^1 \check{V}_9^1 \Pi^1 I^2 V_7 I IV^1 V_7^1 I \Pi^1 I^2 I^2 V_7 I IV^1 V_7^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_9^1 \check{V}_9^1 \Pi^1 I^2 V_7 I \circ IV V_7 I \rightarrow$

(85) (86) (87) (88) (89) (90) (91) (92) (93) (94) (95) (96) (97) (98) (99) (100) (101) (102) (103) (104) (105) (106) (107) (108) (109) (110) (111) (112)
 $\circ IV V_7 I \rightarrow \circ IV V_7 I VI_7^3 VI_7^2 \check{V}_7 V \check{V}_7 V \circ IV V_7 I \rightarrow \circ IV V_7 I \rightarrow \circ IV V_7 I VI_7^3 VI_7^2 \check{V}_7 V \check{V}_7 V Des :$

(113) (114) (115) (116) (117) (118) (119) (120) (121) (122) (123) (124) (125) (126) (127) (128) (129) (130) (131) (132) (133) (134) (135) (136) (137) (138) (139)
 $V_7 \rightarrow I \rightarrow V_7 \rightarrow I \rightarrow V_7 \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} I \rightarrow \check{V}_7^2 V \check{V}_7^2 V_7 I IV^2 I IV^2 I IV^2 I V_7 V_7 I I I IV^2 I IV^2 I \\ F : \left\{ \begin{array}{l} \circ VI \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$

(140) (141) (142) (143) (144) (145) (146) (147) (148) (149) (150) (151) (152) (153) (154) (155) (156) (157) (158) (159) (160) (161) (173)
 $IV^2 I V_7 V_7 I - \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 IV^2 \rightarrow \underset{\textcircled{1}}{V}_9 \underset{\textcircled{1}}{V}_7 I \rightarrow \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_9^1 \circ IV_{+6} \circ \check{V}_9^1 \longrightarrow I \longrightarrow$

ワルツ第5番 OP.42

$\frac{3}{4}$ ①②③④⑤⑥ ⑦⑧⑨^{註19)}⑩⑪⑫⑬⑭⑮⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓㉔㉕㉖㉗㉘㉙
 As: ———— $IV^1 \overset{\vee}{V}_7 \overset{3}{V}_7^{-3} I^2 I^1 V^2 I V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 VI \overset{\vee}{V}_7 I^2 V_7 I VI^1 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 VI \overset{\vee}{V}_7 I^2 V_7 I I V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 VI \overset{\vee}{V}_7$

③①③②③③④③⑤③⑥③⑦③⑧③⑨④①④②④③④④④⑤④⑥ ④⑦④⑧ ④⑨④⑩④⑪④⑫④⑬④⑭④⑮④⑯④⑰④⑱④⑲④⑳④㉑④㉒④㉓④㉔④㉕④㉖④㉗④㉘④㉙^{註20)}④㉚④㉛④㉜
 $I^2 V_7 I VI^1 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 V_7 I V_9 I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^1 V_9^2 I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_9 I V_7 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 \rightarrow I$

⑤⑧⑤⑨⑥①⑥②⑥③⑥④⑥⑤⑥⑥⑥⑦⑥⑧⑥⑨⑦①⑦②⑦③⑦④⑦⑤⑦⑥⑦⑦⑦⑧⑦⑨⑧①⑧②⑧③⑧④
 $V_9 V_7^+ I I VI V_9 V_7^+ I IV I V_9 V_7^+ I I VI V_9 V_7^+ I V_9 I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_9 I V_9 I$

⑧⑤⑧⑥ ⑧⑦⑧⑧⑧⑨⑧⑩ ⑧⑪ ⑧⑫⑧⑬⑧⑭ ⑧⑮ ⑧⑯ ⑧⑰⑧⑱ ⑧⑲⑧⑳ ⑧㉑⑧㉒⑧㉓⑧㉔⑧㉕⑧㉖⑧㉗⑧㉘⑧㉙
 $V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 \rightarrow \overset{\vee}{V}_7 IV II V_9 V_7 I \overset{\vee}{V}_7 IV II V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_7 \overset{\vee}{V}_7 IV II V_9 I IV \overset{\vee}{V}_7 IV \overset{\vee}{V}_9^2 \overset{\vee}{V}_9^3 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_9$

⑩⑥⑩⑦⑩⑧⑩⑨⑩⑩ ⑩⑪⑩⑫ ⑩⑬⑩⑭⑩⑮⑩⑯⑩⑰⑩⑱ ⑩⑲⑩⑳ ⑩㉑⑩㉒⑩㉓⑩㉔⑩㉕⑩㉖⑩㉗⑩㉘⑩㉙
 $I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_9 I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 \rightarrow \left\{ \begin{array}{l} \overset{\vee}{V}_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I V_9 \left\{ \begin{array}{l} I V_7 \text{As: } V_7 V_7 \\ \text{c: } \left\{ \begin{array}{l} \overset{\vee}{V}_9^2 \nearrow \text{B: } \left\{ \begin{array}{l} II \nearrow \text{Es: } \left\{ \begin{array}{l} V \nearrow \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right.$

⑬③⑬①⑬②⑬③⑬④ ⑬⑤ ⑬⑥⑬⑦⑬⑧ ⑬⑨ ⑬⑩ ⑬⑪⑬⑫ ⑬⑬⑬⑭⑬⑮⑬⑯⑬⑰⑬⑱⑬⑲⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙
 $\overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 V_9 \left\{ \begin{array}{l} I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I V_9 \text{Es: } V_7 V_7 I^2 V_7 \text{As: } V_7 V_7 I \overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 V_7 I I I \\ \text{c: } \left\{ \begin{array}{l} VI \nearrow \\ \text{B: } \left\{ \begin{array}{l} II \nearrow \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right.$

⑬⑤⑬⑥⑬⑦⑬⑧⑬⑨⑬⑩⑬⑪⑬⑫⑬⑬⑬⑭⑬⑮⑬⑯⑬⑰⑬⑱⑬⑲⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙
 $\overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 \overset{\vee}{V}_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9 I^2 V_9 I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_9 I V_9 I V_9 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_9^2 \rightarrow I$

⑬②⑬③⑬④⑬⑤⑬⑥⑬⑦⑬⑧⑬⑨⑬⑩⑬⑪⑬⑫⑬⑬⑬⑭⑬⑮⑬⑯⑬⑰⑬⑱⑬⑲⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙
 $V_7 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 VI \overset{\vee}{V}_7 I^2 V_7 I VI^1 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 VI \overset{\vee}{V}_7 I^2 V_7 I I V_7 \overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1 I^2 V_7 I VI^1 \overset{\vee}{V}_7 \overset{\vee}{V}_7 VI \circ \overset{\vee}{V}_9^1$

⑬⑬⑬⑭⑬⑮⑬⑯⑬⑰⑬⑱⑬⑲⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙
 $V_9 I V_9 I \circ \overset{\vee}{V}_9^1 \overset{\vee}{V}_9 II \circ \overset{\vee}{V}_9^1 \overset{\vee}{V}_9 \rightarrow \text{—————} V_7 I V_9 V_7 I V_7 I V_9 V_7 \left[\begin{array}{l} I \overset{\vee}{V}_7^{\vee} \rightarrow \\ \text{Gis: } \left\{ \begin{array}{l} I \nearrow \end{array} \right.$

⑬④⑬⑤⑬⑥⑬⑦⑬⑧⑬⑨⑬⑩⑬⑪⑬⑫⑬⑬⑬⑭⑬⑮⑬⑯⑬⑰⑬⑱⑬⑲⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙⑬⑳⑬㉑⑬㉒⑬㉓⑬㉔⑬㉕⑬㉖⑬㉗⑬㉘⑬㉙
 $\text{—————} \left[\begin{array}{l} -N^1 \circ \overset{\vee}{V}_9^1 V_7 I V_9 V_7 I V_7 I^3 I^1 V_7^2 I \overset{\vee}{V}_7^3 IV^1 \overset{\vee}{V}_7^2 \left\{ \begin{array}{l} IV \overset{\vee}{V}_7^{\vee} \left\{ \begin{array}{l} -N^1 \\ \text{Cis: } \left\{ \begin{array}{l} I \nearrow \text{D: } \left\{ \begin{array}{l} I^1 \nearrow \text{h: } \left\{ \begin{array}{l} \overset{\vee}{V}_9^1 \\ \overset{\vee}{V}_9^2 \nearrow \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right\} \end{array} \right. \\ -N^1 \nearrow \end{array} \right.$

②60 ②61 ②62 ②63 ②64 ②65 ②66 ②67 ②68 ②69 ②70 ②71 ②72 ②73 ②74 ②75 ②76 ②77 ——— ②87 ②88 ②89

I² { $\overset{\vee}{V}_9^1$ } { $\overset{\vee}{V}_7$ V₉ I² V₉ I² V₉ $\overset{\vee}{V}_7$ $\overset{\vee}{V}_7$ V₉² I $\circ\overset{\vee}{V}_9^1$ V₉ I² V₉ I² V₉ } ———→ I ———→ —

C : { V_7^3 } / As : { $\overset{\vee}{V}_9^2$ } /

ワルツ第6番 op. 64 の1

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ||: ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛

Des : ——— I I¹ I I¹ V₉ V₇² V₉ V₇ I I¹ I I¹ V₉ V₇² V₉ V₇ $\overset{\vee}{V}_7$ VI V₇¹ I II¹ I² V₇ I $\overset{\vee}{V}_7^1$ VI V₇¹

③2 ③3 ③4 ③5 ③6 :|| ③6 ③7 ③8 ^{註23)} ③9 ④0 ④1 ④2 ④3 ④4 ④5 ④6 ④7 ④8 ④9 ⑤0 ⑤1 ⑤2 ⑤3 ⑤4 ⑤5 ⑤6

I II₇¹ I² V₇ I I V₇ → $\overset{\vee}{V}_7$ I I² V₇² V₇ I I¹ V₇¹ V₇ $\overset{\vee}{V}_7$ { I $\circ\overset{\vee}{V}_9^1$ I² V₇ } { I — V₇¹ V₇ $\overset{\vee}{V}_7$ I I² }
f : { VI / } Des : { III / }

⑤7 ⑤8 ⑤9 ⑥0 ⑥1 ⑥2 ⑥3 ^{註24)} ⑥4 ⑥5 ⑥6 ⑥7 ⑥8 ———→ ⑦6 ⑦7 ⑦8 ⑦9 ⑧0 ⑧1 ⑧2 ⑧3 ⑧4 ⑧5 ⑧6 ⑧7 ⑧8 ⑧9 ⑨0 ⑨1 ⑨2 ⑨3

V₇² V₇ I I¹ V₇¹ V₇ II₇² $\overset{\vee}{V}_7$ $\overset{\vee}{V}_9$ \circ II₇³ V₇ ——— I I¹ I I¹ V₉ V₇² V₉ V₇ I I¹ I I¹ V₉ V₇² V₉ V₇ $\overset{\vee}{V}_7^1$

⑨4 ⑨5 ⑨6 ⑨7 ⑨8 ⑨9 ⑩0 ⑩1 ⑩2 ⑩3 ⑩4 ⑩5 ⑩6 ⑩7 ⑩8 ⑩9 ⑪0 ⑪1 ⑪2 ⑪3 ⑪4 ⑪5 ⑪6 ⑪7 ⑪8 ⑪9 ⑫0 ⑫1 ⑫2 ⑫3 ⑫4

VI V₇¹ I II¹ I² V₇ I $\overset{\vee}{V}_7^1$ VI V₇¹ I II₇¹ I² V₇ I $\overset{\vee}{V}_7^1$ VI V₇¹ I II¹ I² V₇ I $\overset{\vee}{V}_7^1$ VI V₇¹ I II₇¹ — V₇ I Fine

ワルツ第7番 op. 64 の2

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ^{註25)} ⑤ ⑥ ^{註26)} ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭

cis : I $\overset{\vee}{V}_7$ V₉ V₇ $\overset{\vee}{V}_9^{-3}$ { I I² $\circ\overset{\vee}{V}_9^1$ V₉ V₇ } { I II₇ V₉ V₇ } { I V₇E : V₉ V₇ } { I II₇² I² V₇ }
A : { III / } cis : { VI / } H : { II / } gis : { VI / } cis :

⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛

V₇ — I $\overset{\vee}{V}_7$ V₉ V₇ $\overset{\vee}{V}_9^{-3}$ { I I² $\circ\overset{\vee}{V}_9^1$ V₉ V₇ } { I \circ II₇ \circ V₉ V₇ Fis : V₇ H : V₇ E : V₇ A : V₇⁶ cis : $\overset{\vee}{V}_9^1$ }
A : { III / } Cis : { \circ VI / }

③0 ③1 ③2 ③3 ③4 ③5 ③6 ③7 ③8 ③9 ④0 ④1 ④2 ④3 ④4 ④5 ④6 ④7 ④8 ④9 ⑤0 ⑤1 ⑤2 ⑤3 ⑤4 ⑤5 ⑤6 ⑤7 ⑤8 ⑤9 ⑥0

II₇¹ I² V₇ I V₇¹ I V₇ VI II₇¹ I² V₇ I V₇¹ I V₇ VI -N¹ — V₇ I V₇¹ I V₇ VI II₇¹ I² V₇ I V₇¹ I V₇ VI

⑥1 ⑥2 ⑥3 ⑥4 ⑥5 ⑥6 ⑥7 ⑥8 ⑥9 ⑦0 ⑦1 ⑦2 ⑦3 ⑦4 ⑦5 ⑦6 ⑦7 ⑦8 ⑦9 ⑧0 ⑧1 ⑧2 ⑧3 ⑧4

-N¹ — V₇ I Des : I → \acute{I} VI¹ VI¹ $\overset{\vee}{V}_7$ II → \mathcal{V}_7^2 \mathcal{V}_7^2 $\overset{\vee}{V}_7$ III $\overset{\vee}{V}_7^2$ II¹ II¹ $\circ\overset{\vee}{V}_9^1$ I² V₇ I I I \acute{I} VI¹ VI¹ $\overset{\vee}{V}_7$

$$\begin{array}{c} \textcircled{85} \textcircled{86} \textcircled{87} \textcircled{88} \quad \textcircled{89} \textcircled{90} \textcircled{91} \quad \textcircled{92} \textcircled{93} \textcircled{94} \textcircled{95} \textcircled{96} \textcircled{97} \textcircled{98} \textcircled{99} \textcircled{100} \textcircled{101} \textcircled{102} \textcircled{103} \textcircled{104} \textcircled{105} \textcircled{106} \textcircled{107} \textcircled{108} \textcircled{109} \textcircled{110} \textcircled{111} \textcircled{112} \textcircled{113} \\ \text{II II } \mathcal{V}_7^2 \mathcal{V}_7^2 \overset{\text{III}}{\mathbb{V}}_7^1 \text{ III } \overset{\text{II}}{\mathbb{V}}_7^2 \text{ II}^1 \left\{ \begin{array}{l} \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \rightarrow \text{---} \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{III}_7^1 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{-N}^1 \text{---} \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \\ \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \nearrow \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{114} \textcircled{115} \textcircled{116} \textcircled{117} \textcircled{118} \textcircled{119} \textcircled{120} \textcircled{121} \textcircled{122} \textcircled{123} \textcircled{124} \textcircled{125} \textcircled{126} \textcircled{127} \textcircled{128} \textcircled{129} \textcircled{130} \textcircled{131} \quad \textcircled{132} \quad \textcircled{133} \textcircled{134} \textcircled{135} \quad \textcircled{136} \quad \textcircled{137} \\ \text{I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{III}_7^1 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{-N}^1 \text{---} \text{V}_7 \text{ I } \text{ I } \overset{\check{V}}{\mathbb{V}}_7 \text{V}_9 \text{V}_7 \overset{-3}{\mathbb{V}}_9 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ I}^2 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9 \text{V}_9 \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ II } \text{V}_9 \\ \text{A : } \left\{ \begin{array}{l} \text{III } \nearrow \\ \text{cis : } \left\{ \begin{array}{l} \text{VI } \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{138} \quad \textcircled{139} \quad \textcircled{140} \quad \textcircled{141} \textcircled{142} \quad \textcircled{143} \textcircled{144} \textcircled{145} \textcircled{146} \textcircled{147} \quad \textcircled{148} \quad \textcircled{149} \textcircled{150} \textcircled{151} \quad \textcircled{152} \\ \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{V}_7 \text{ E : V}_9 \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ II}_7^2 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ cis : V}_7 \text{---} \text{I } \overset{\check{V}}{\mathbb{V}}_7 \text{V}_9 \text{V}_7 \overset{-3}{\mathbb{V}}_9 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ I}^2 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9 \text{V}_9 \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \\ \text{H : } \left\{ \begin{array}{l} \text{II } \nearrow \\ \text{gis : } \left\{ \begin{array}{l} \text{VI } \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{153} \quad \textcircled{154} \quad \textcircled{155} \quad \textcircled{156} \quad \textcircled{157} \quad \textcircled{158} \textcircled{159} \quad \textcircled{160} \textcircled{161} \textcircled{162} \textcircled{163} \textcircled{164} \textcircled{165} \textcircled{166} \textcircled{167} \textcircled{168} \textcircled{169} \textcircled{170} \textcircled{171} \textcircled{172} \\ \circ \text{II}_7 \text{V}_9 \text{V}_7 \text{ Fis : V}_7 \text{ H : V}_7 \text{ E : V}_7 \text{ A : V}_7^{+6} \text{ cis : } \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \text{II}_7^1 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{III}_7^1 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI} \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{173} \textcircled{174} \textcircled{175} \textcircled{176} \textcircled{177} \textcircled{178} \textcircled{179} \textcircled{180} \textcircled{181} \textcircled{182} \textcircled{183} \textcircled{184} \textcircled{185} \textcircled{186} \textcircled{187} \textcircled{188} \textcircled{189} \textcircled{190} \textcircled{191} \textcircled{192} \\ \text{-N}^1 \text{---} \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{III}_7^1 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{ I } \text{V}_7 \text{ VI } \text{-N}^1 \text{---} \text{V}_7 \text{ I} \end{array}$$

ワルツ第8番 op. 64 の3

$$\begin{array}{c} \frac{3}{4} \quad \textcircled{1} \textcircled{2} \textcircled{3} \textcircled{4} \textcircled{5} \textcircled{6} \textcircled{7} \quad \textcircled{8} \textcircled{9} \textcircled{10} \textcircled{11} \textcircled{12} \textcircled{13} \textcircled{14} \textcircled{15} \textcircled{16} \quad \textcircled{17} \textcircled{18} \textcircled{19} \textcircled{20} \textcircled{21} \textcircled{22} \textcircled{23} \quad \textcircled{24} \textcircled{25} \\ \text{As : I } \text{I}^2 \text{ I } \text{I}^2 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \text{V}_7^2 f : \text{V}_7^1 \text{ I } \text{ I}^2 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ II}_7^1 \text{ I}^2 \rightarrow \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{V}_9 \text{ I } \text{I}^2 \text{ I } \text{I}^2 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \text{V}_7^2 f : \text{V}_7^1 \text{ I} \\ \text{Es : } \left\{ \begin{array}{l} \text{II } \nearrow \\ \text{As : } \left\{ \begin{array}{l} \text{V } \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{26} \textcircled{27} \textcircled{28} \textcircled{29} \textcircled{30} \textcircled{31} \textcircled{32} \quad \textcircled{33} \textcircled{34} \textcircled{35} \textcircled{36} \textcircled{37} \textcircled{38} \textcircled{39} \quad \textcircled{40} \textcircled{41} \textcircled{42} \textcircled{43} \textcircled{44} \textcircled{45} \textcircled{46} \textcircled{47} \textcircled{48} \quad \textcircled{49} \quad \textcircled{50} \textcircled{51} \textcircled{52} \\ \text{I}^2 \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \text{ II}_7^1 \text{ I}^2 \rightarrow \text{V}_7 \text{ I } \text{ b : I } \text{I}^2 \text{ I } \text{I}^2 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \left\{ \begin{array}{l} \text{VI } \text{ I}^2 \text{ I } \text{I}^2 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \text{V}_7^2 \text{V}_7 \text{ Es : V}_7^1 \text{ V } \text{I}^1 \text{V}_7 \text{ I}^2 \\ \text{Es : } \left\{ \begin{array}{l} \text{II } \nearrow \\ \text{Ges : } \left\{ \begin{array}{l} \text{I } \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{53} \textcircled{54} \textcircled{55} \textcircled{56} \textcircled{57} \textcircled{58} \textcircled{59} \quad \textcircled{60} \quad \textcircled{61} \quad \textcircled{63} \quad \textcircled{64} \quad \textcircled{65} \textcircled{66} \textcircled{67} \textcircled{68} \quad \textcircled{69} \textcircled{70} \\ \text{V}_7 \text{ I}^2 \text{V}_7 \text{ I}^2 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9 \rightarrow \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \overset{\check{V}}{\mathbb{V}}_7^1 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \overset{\check{V}}{\mathbb{V}}_7^1 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \left\{ \begin{array}{l} \circ \mathcal{V}_9^3 \left\{ \begin{array}{l} \rightarrow \mathcal{V}_9^1 \text{V}_7^1 \mathcal{V}_9 \text{V}_7^1 \mathcal{V}_9^1 \text{ I } \text{II}_7^1 \text{ V } \text{V } \text{VI } \text{I}^1 \text{II}_7^1 \\ \text{As : } \left\{ \begin{array}{l} \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^3 \nearrow \text{c : } \left\{ \begin{array}{l} \circ \overset{\check{V}}{\mathcal{V}}_9^1 \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array}$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{71} \textcircled{72} \textcircled{73} \textcircled{74} \textcircled{75} \textcircled{76} \textcircled{77} \quad \textcircled{78} \textcircled{79} \quad \textcircled{80} \textcircled{81} \textcircled{82} \quad \textcircled{83} \quad \textcircled{84} \quad \textcircled{85} \quad \textcircled{86} \textcircled{87} \quad \textcircled{88} \textcircled{89} \quad \textcircled{90} \\ \text{V } \left\{ \begin{array}{l} \text{V } \text{ I } \text{---} \text{---} \text{V}_7^1 \text{V}_7 \text{ I}^1 \text{V}_7^2 \text{V}_7^1 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{I}^2 \text{ I } \text{I}^2 \overset{\check{V}}{\mathbb{V}}_7 \text{V } \text{d : IV}^2 \text{V}_7^1 \text{V } \text{I}^1 \text{V}_7^2 \text{V}_7^1 \text{V}_7 \text{ I } \text{V}_7^1 \text{VI } \text{I}^2 \\ \text{C : } \left\{ \begin{array}{l} \text{V } \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

⑨① ⑨② ⑨③ ⑨④ ⑨⑤ ⑨⑥ ⑨⑦ ⑨⑧ ⑨⑨ ⑩① ⑩② ⑩③ ⑩④ ⑩⑤ ⑩⑥ ⑩⑦

$$C: \left\{ \begin{array}{l} I \circ \Pi_7^2 V_7 \\ II \nearrow \end{array} \right. f: \left\{ \begin{array}{l} I V_7 V_9 V_7 I I^2 V_7 V_9 V_7 I \\ V \nearrow \end{array} \right. \quad As: \left\{ \begin{array}{l} I^1 \\ VI^1 \nearrow as: \left\{ \begin{array}{l} \check{V}_7^1 V_7 V_9 V_7 I I^2 V_7 V_9 \\ \check{V}_7^1 \end{array} \right. \quad As: \left\{ \begin{array}{l} V_7 \check{V}_7^1 \\ V_7 \nearrow \end{array} \right.$$

⑩⑧ ⑩⑨ ⑩⑩ ⑩⑪ ⑩⑫ ⑩⑬ ⑩⑭ ⑩⑮ ⑩⑯ ⑩⑰ ⑩⑱ ⑩⑲ ⑩⑳ ⑩㉑ ⑩㉒ ⑩㉓ ⑩㉔ ⑩㉕ ⑩㉖ ⑩㉗ ⑩㉘ ⑩㉙ ⑩㉚

$$\check{V} \circ \check{V}_9^1 I \circ \check{V}_9^2 V_7^1 I I^2 I I^2 V_7^2 V_7 V_7^2 f: V_7^1 I I^2 \left\{ \begin{array}{l} I \Pi_7^1 I^2 \rightarrow V_7 \\ Es: \left\{ \begin{array}{l} II \nearrow \\ As: \left\{ \begin{array}{l} I V_7 I I^2 I I^2 V_7^2 V_7 \\ V \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

⑬① ⑬② ⑬③ ⑬④ ⑬⑤ ⑬⑥ ⑬⑦ ⑬⑧ ⑬⑨ ⑬⑩ ⑬⑪ ⑬⑫ ⑬⑬ ⑬⑭ ⑬⑮ ⑬⑯ ⑬⑰ ⑬⑱ ⑬⑲ ⑬⑳

$$V_7^2 \left\{ \begin{array}{l} \check{V}_7^1 I V_7^1 I \check{V}_7^2 \\ E: \left\{ \begin{array}{l} \check{V}_9^3 \nearrow \\ As: \left\{ \begin{array}{l} \circ V_9^1 \nearrow \\ \circ V_9^1 V_7 I \check{V}_7^1 \Pi_7^1 V_7 I \check{V}_7^1 V_7^2 V I \acute{I} -N^1 V_7 \end{array} \right. \end{array} \right.$$

⑬⑳ ⑭① ⑭② ⑭③ ⑭④ ⑭⑤ ⑭⑥ ⑭⑦ ⑭⑧ ⑭⑨ ⑭⑩ ⑭⑪ ⑭⑫ ⑭⑬ ⑭⑭ ⑭⑮ ⑭⑯ ⑭⑰ ⑭⑱ ⑭㉑

$$I V_7 I V_7 I \rightarrow I \rightarrow I^2 I^2 V_7 I^2 V_7 V_7 I^2 I^2 V_7 V_7 I^2 I^2 V_7 I \rightarrow \text{---} I \rightarrow$$

註29)
ワルツ第9番 op. posth. 69 の1

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯: || ||: ⑰ ⑱ ⑲ ⑳

$$As: IV^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^3 \Pi^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^1 I^2 V_7 I IV^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^3 \Pi^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^1 I^2 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \text{ Fine } V_7^3 I V_7 I \\ Es: \left\{ \begin{array}{l} IV \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

⑳① ⑳② ⑳③ ⑳④: || ⑳⑤ ⑳⑥ ⑳⑦ ⑳⑧ ⑳⑨ ⑳⑩ ⑳⑪ ⑳⑫ ⑳⑬ ⑳⑭ ⑳⑮ ⑳⑯ ⑳⑰ ⑳⑱ ⑳⑲ ⑳⑳: || ㉑① ㉑② ㉑③

$$V_7^3 I V_7 I \left\{ \begin{array}{l} I IV^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^3 \Pi^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^1 I^2 V_7 I IV^1 \circ \check{V}_9^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^3 \Pi^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^1 I^2 V_7 I V_7 I V_7 \\ As: \left\{ \begin{array}{l} V \nearrow \end{array} \right.$$

㉑④ ㉑⑤ ㉑⑥ ㉑⑦ ㉑⑧: |||: ㉑⑨ ㉑⑩ ㉑⑪ ㉑⑫ ㉑⑬ ㉑⑭ ㉑⑮ ㉑⑯ ㉑⑰ ㉑⑱ ㉑⑲ ㉑⑳ ㉑㉑ ㉑㉒ ㉑㉓: ||

$$I V_7 I V_7 I \check{V}_7^1 \check{V}_7^1 \circ \check{V}_9^2 \circ \check{V}_9^2 \check{V}_7^1 \check{V}_7^1 V V \check{V}_7^1 \check{V}_7^1 VI VI V_7 V_7 I V_7^1 V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I \text{ Da Capo al Fine}$$

註31)
ワルツ第10番 op. posth. 69 の2

$\frac{3}{4}$ ||: ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯: || ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓

$$h: I V_7^2 V_7^1 I I \circ \check{V}_9^1 \Pi_7^1 V_7 I V_7^2 V_7 I I^1 -N^1 I^2 V_7 I I \left\{ \begin{array}{l} I^1 \circ \check{V}_9^1 I V_7 I V_9 I \\ D: \left\{ \begin{array}{l} IV^1 \nearrow \\ h: \left\{ \begin{array}{l} \Pi^1 \\ IV^1 \end{array} \right. \end{array} \right.$$

㉑④ ㉑⑤ ㉑⑥ ㉑⑦ ㉑⑧ ㉑⑨ ㉑⑩ ㉑⑪ ㉑⑫ ㉑⑬ ㉑⑭ ㉑⑮ ㉑⑯ ㉑⑰ ㉑⑱ ㉑⑲ ㉑⑳ ㉑㉑ ㉑㉒ ㉑㉓ ㉑㉔ ㉑㉕ ㉑㉖ ㉑㉗ ㉑㉘ ㉑㉙ ㉑㉚

$$V_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I V_7 I V_7^1 I \\ D: \left\{ \begin{array}{l} VI \nearrow \\ h: \left\{ \begin{array}{l} \Pi^1 V_7^1 I V_7^2 V_7 I I \circ \check{V}_9^1 \Pi_7^1 V_7 I V_7^2 V_7 I I^1 -N^1 I^2 V_7 I \text{ Fine } H: I \\ IV^1 \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

⑤① ⑤② ⑤③ ⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥ ⑤⑦ ⑤⑧ ⑤⑨ ⑥① ⑥② ⑥③ ⑥④ ⑥⑤ ⑥⑥ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨ ⑦① ⑦② ⑦③ ⑦④ ⑦⑤

$V_9^1 V_7^1 I V_9^1 V_7^1 I V_7 I V_7 I V_9^1 V_7^1 I V_9^1 V_7^1 I V_7^2 \check{V}_7 V_7 I V_7^1 I V_7^1 I V_7 I$ $\left\{ \begin{array}{l} V_7 I V_9^1 V_7^1 I \\ h : V_7 \nearrow \end{array} \right.$

⑦⑥ ⑦⑦ ⑦⑧ ⑦⑨ ⑧①

$V_9^1 V_7^1 I \check{V}_9^2 V V$
Valse da Capo al Fine

註33)
 ワルツ第11番 op. posth. 70 の1

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ $\overbrace{⑧}^{\text{Fine}}$ ⑧ ||: ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ $\overbrace{⑯}^{\text{Fine}}$ ⑯ ||: ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒

Ges: $V_7 I V_7 I V_7 I V_7 I$ $\left\{ \begin{array}{l} I V_7 I V_7 I V_7 I \\ \text{Des} : IV \nearrow \end{array} \right.$ $\left\{ \begin{array}{l} I V_7 I \text{II}^1 V_9 V_7 I I \text{II}^1 \\ \text{Des} : V \nearrow \end{array} \right.$

⑳ $\overbrace{㉑}^{\text{Fine}}$ ㉑ ||: ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶

$V_9 V_7 I I \check{V}_7^1 \text{VI} \check{V}_7^1 \text{II}^1 \check{V}_7^2 \check{V}_7^2 V V_7 I \text{II}^1 V_9 V_7 I I \text{II}^1 V_9 V_7 I$
Da Capo al Fine

註34)
 ワルツ第12番 op. posth. 70 の2

$\frac{3}{4}$ ① $\overbrace{②}^{\text{註35}}$ ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒

$f : I -I_7^3 IV^1 IV I V_7^1 I \text{II}_7^1 V \text{As} : I I_7^3 \left\{ \begin{array}{l} \text{VI}_7 V_7 V_7 I^2 V_7 I^2 V_7 I \check{V}_7^1 I^2 V_7 I \\ \text{Es} : \text{II}_7 \nearrow \end{array} \right. f : V_9 I -I_7^3$

⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

$IV^1 IV I V_7^1 I \text{II}_7^1 V \text{As} : I I_7^3 \left\{ \begin{array}{l} \text{VI}_7 V_7 V_7 I^2 V_7 I^2 V_7 I \check{V}_7^1 I^2 V_7 \\ \text{Es} : \text{II}_7 \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \text{II}^1 \text{II}_7 I^2 I^2 V_7 V_9 \\ \text{As} : V \nearrow \end{array} \right.$

④⑦ ④⑧ ④⑨ ⑤① ⑤② $\overbrace{⑤③}^{\text{註36}}$ ⑤④ ⑤⑤ ⑤⑥ ⑤⑦ ⑤⑧ ⑤⑨ ⑥① ⑥② ⑥③ ⑥④ ⑥⑤ ⑥⑥ ⑥⑦ ⑥⑧ ⑥⑨ ⑦① ⑦②

$V_7 I I \text{II}_7^1 \text{II}_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \text{II}_7^2 \check{V}_7^2 I^2 V_7 \\ c : \text{VI} \nearrow \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \check{V}_9^2 \text{II}_7 \text{II}_7 I^2 I^2 V_7 V_9 V_7 I I \text{II}_7 \text{II}_7 I^2 I^2 \check{V}_7^2 V_7 V_7 I \\ \text{As} : \text{III} \nearrow \end{array} \right.$

ワルツ第13番 op. posth. 70 の3

$\frac{3}{4}$ ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ $\overbrace{⑦}^{\text{註37}}$ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲

Des: $I V_7 \text{VI}_7 \check{V}_7 V_7 I \circ V_9 \circ \check{V}_9^1 \text{VI} \text{II}^1 V_7 I I V_7 \text{VI}_7 V_7 V_7 I \circ V_9 \circ \check{V}_9^1 \text{VI} \text{II}^1 V_7 I \check{V}_9 \check{V}_9 V V_9 \check{V}_9$

⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

IV ♯IV I ♯V₉ V₉ V I V₉ V₇ V V₇ V₇ IV ♯IV I ♯V₉ V₉ V { I I I¹ V² V₇³ V₇^{♯2} V₇^{♯2} V₇^{♯3} II¹ V₇^{♯2} II

Ges: { V ↗

㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

♯V₉³ V¹ V₇^{♯2} V₇ I I² V² V₇³ V₇^{♯2} V₇^{♯2} V₇^{♯3} II¹ V₇^{♯2} II ♯V₉³ V₇¹ V₇² I { I V₉ V I V₇^{♯6} V₇ I V₉ I V V₇^{♯6}

Des: { IV ↗

㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

V₇ I { I I I¹ V² V₇³ V₇^{♯2} V₇^{♯2} V₇^{♯3} II¹ V₇^{♯2} II ♯V₉³ V¹ V₇^{♯2} V₇ I I¹ V² V₇³ V₇^{♯2} V₇^{♯2} V₇^{♯3} II¹ V₇^{♯2} II ♯V₉³ V¹ V₇²

Ges: { V ↗

㊿

I
Fine o da Capo il Valzo

ワルツ第 14 番 KK IV a Nr. 13

$\frac{3}{8}$ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

As: V₇¹ V₇¹ I I V₇ V₉ I I V₇¹ V₇¹ I I V₇^{♯2} V₇^{♯2} V V II¹ II¹ V₇ I_{Fine} f: V₇ I V₇ I V₇ I V₇

㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

I { I V₇¹ V₇¹ I I V₇ V₇ I I V₇¹ V₇¹ I I II¹ II¹ V₇ { I V₇ I V₇ I V₇ I V₇ I { I

As: { VI ↗ Des: { V ↗ As: { IV ↗

ワルツ第 15 番 KK IV a Nr. 12

$\frac{3}{4}$ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

E: —————→ V₉¹ V₇¹ I V₉¹ V₇¹ I V₇^{♯2} IV ♯IV I V₇^{♯2} V₇ V₇ V₇ V₇ V₇ V₇ I V₇^{♯2} IV ♯IV I V₇^{♯2} V₇ V₇ { I

gis: { IV ↗

㊿ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

I IV I → V₇¹ I V₇ I I IV I → V₇¹ I V₇ { I I V₇^{♯2} IV ♯IV I V₇^{♯2} V₇ V₇ V₇ V₇ V₇ I V₇^{♯2} IV ♯IV I

E: { III ↗

$$\begin{array}{c} \textcircled{53} \textcircled{54} \textcircled{55} \textcircled{56} \textcircled{57} \textcircled{58} \textcircled{59} \textcircled{60} \textcircled{61} \textcircled{62} \textcircled{63} \textcircled{64} \textcircled{65} \textcircled{66} \textcircled{67} \textcircled{68} \textcircled{69} \textcircled{70} \textcircled{71} \textcircled{72} \textcircled{73} \textcircled{74} \textcircled{75} \textcircled{76} \textcircled{77} \\ \check{V}_7 V_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad V_7^1 I \quad V_7^1 I \quad V_7^3 I \quad \check{V}_7 I \quad V_7 I \quad V_7^1 I \quad \check{V}_7^1 VI \quad \check{V}_7^1 I^2 V_7^1 \end{array} \right. \left\{ \begin{array}{l} I \quad - V_9^1 V_7^1 I \quad V_9^1 V_7^1 I \quad \check{V}_7^1 \\ A: \left\{ \begin{array}{l} V \nearrow \\ E: \left\{ \begin{array}{l} IV \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right.$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{78} \textcircled{79} \textcircled{80} \textcircled{81} \textcircled{82} \textcircled{83} \textcircled{84} \textcircled{85} \textcircled{86} \textcircled{87} \textcircled{88} \textcircled{89} \textcircled{90} \textcircled{91} \textcircled{92} \textcircled{93} \textcircled{94} \textcircled{95} \textcircled{96} \textcircled{97} \textcircled{98} \textcircled{99} \textcircled{100} \textcircled{101} \textcircled{102} \textcircled{103} \textcircled{104} \textcircled{105} \textcircled{106} \\ IV \circ IV I \quad \check{V}_7 V_7 V_7 V_7 \check{V}_7 I \check{V}_7 IV \circ IV I \quad \check{V}_7 V_7 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad I \quad IV \quad I \rightarrow V_7^1 I \quad V_7 I \quad I \quad IV \quad I \rightarrow V_7^1 I \\ gis: \left\{ \begin{array}{l} VI \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{107} \textcircled{108} \textcircled{109} \textcircled{110} \textcircled{111} \textcircled{112} \textcircled{113} \textcircled{114} \textcircled{115} \textcircled{116} \textcircled{117} \textcircled{118} \textcircled{119} \textcircled{120} \textcircled{121} \textcircled{122} \textcircled{123} \textcircled{124} \\ V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad I \quad \check{V}_7 IV \circ IV I \quad \check{V}_7 V_7 V_7 V_7 \check{V}_7^1 I \quad \check{V}_7 IV \circ IV I \quad \check{V}_7 V_7 V_7 I \\ E: \left\{ \begin{array}{l} III \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right.$$

ワルツ第 16 番 KK IV a Nr. 15

$$\frac{3}{4} \textcircled{1} \textcircled{2} \textcircled{3} \textcircled{4} \textcircled{5} \textcircled{6} \textcircled{7} \textcircled{8} \textcircled{9} \textcircled{10} \textcircled{11} \textcircled{12} \textcircled{13} \textcircled{14} \textcircled{15} \textcircled{16} \textcircled{17} \textcircled{18} \textcircled{19} \textcircled{20} \textcircled{21} \textcircled{22} \textcircled{23} \textcircled{24} \parallel: \textcircled{25} \textcircled{26} \textcircled{27} \textcircled{28} \\ e: I \longrightarrow V_7^1 I \quad V_7^2 I^1 \quad \Pi_7^1 I^2 \quad V_7 I \quad V_7^1 I \quad V_7^2 I^1 \quad \Pi_7^1 I^2 \quad V_7 I \quad VI^1 V_9^1 V^1 d: VI^1 V_9^1 V^1$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{29} \textcircled{30} \textcircled{31} \textcircled{32} \textcircled{33} \textcircled{34} \textcircled{35} \textcircled{36} \textcircled{38} \textcircled{39} \textcircled{40} \textcircled{41} \textcircled{42} \textcircled{43} \textcircled{44} \textcircled{45} \textcircled{46} \textcircled{47} \textcircled{48} \textcircled{49} \textcircled{50} \textcircled{51} \textcircled{52} \textcircled{53} \textcircled{54} \\ C: \left\{ \begin{array}{l} VI^1 \quad I^2 \quad V_7 I \quad VI^1 V^1 d: VI^1 V^1 C: \left\{ \begin{array}{l} VI^1 \quad I^2 \quad V \quad V_7 I \quad V_7^1 I \quad V_7^2 I^1 \quad \Pi_7^1 I^2 \quad V_7 I \quad V_7^1 I \quad V_7^2 I^1 \quad \Pi_7^1 I^2 \\ e: \left\{ \begin{array}{l} IV^1 \nearrow \\ e: \left\{ \begin{array}{l} IV^1 \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right.$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{55} \textcircled{56} \parallel: \textcircled{56} \parallel: \textcircled{57} \textcircled{58} \textcircled{59} \textcircled{60} \textcircled{61} \textcircled{62} \textcircled{63} \textcircled{64} \textcircled{65} \textcircled{66} \textcircled{67} \textcircled{68} \textcircled{69} \textcircled{70} \textcircled{71} \textcircled{72} \parallel: \textcircled{72} \parallel: \textcircled{73} \textcircled{74} \textcircled{75} \textcircled{76} \\ V_7 I \quad I \quad E: V_9 V_7 I \quad I^1 \quad I^2 \circ \check{V}_9 V \quad I \quad V_9 V_7 I \quad I^1 \quad I^2 \circ \check{V}_9 V_7 I \quad I \quad cis: V \quad V \quad I \quad V \quad V \left\{ \begin{array}{l} I \\ gis: \left\{ \begin{array}{l} IV \end{array} \right. \end{array} \right.$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{77} \textcircled{78} \textcircled{79} \textcircled{80} \textcircled{81} \textcircled{82} \textcircled{83} \textcircled{84} \textcircled{85} \textcircled{86} \textcircled{87} \textcircled{88} \textcircled{89} \textcircled{90} \textcircled{91} \textcircled{92} \textcircled{93} \textcircled{94} \textcircled{95} \textcircled{20} \parallel: \textcircled{96} \textcircled{97} \textcircled{98} \textcircled{99} \textcircled{100} \textcircled{101} \\ I^2 I^2 V_7 \left\{ \begin{array}{l} I \quad V_9 V_7 I \quad I^1 \quad I^2 \circ \check{V}_9 V \quad I \quad V_9 V_7 I^2 I^2 I^2 \circ \check{V}_9 V_7 I \quad I \quad \left\{ \begin{array}{l} V_7^1 \quad I \quad V_7^1 \quad I^1 \quad \Pi_7^1 \\ \nearrow \quad E: \left\{ \begin{array}{l} III \nearrow \\ e: \left\{ \begin{array}{l} V_7^1 \nearrow \end{array} \right. \end{array} \right. \end{array} \right.$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{102} \textcircled{103} \textcircled{104} \textcircled{105} \textcircled{106} \textcircled{107} \textcircled{108} \textcircled{109} \textcircled{110} \textcircled{111} \textcircled{112} \textcircled{113} \textcircled{114} \textcircled{115} \textcircled{116} \textcircled{117} \textcircled{118} \textcircled{119} \textcircled{120} \textcircled{121} \textcircled{122} \textcircled{123} \\ I^2 V_7 I \quad V_7^1 I \quad V_7^2 \circ \check{V}_9^1 - N_7^1 \check{V}_7^1 I^2 \circ \check{V}_9^2 \circ \check{V}_9^2 \longrightarrow \circ \check{V}_9^2 I^2 V_7 I \quad \check{V}_9 I \quad \check{V}_9 I \quad \check{V}_9 I \quad \check{V}_9 I \quad \check{V}_9 I$$

$$\begin{array}{c} \textcircled{124} \textcircled{125} \textcircled{126} \textcircled{127} \textcircled{128} \textcircled{129} \textcircled{130} \textcircled{131} \\ \longrightarrow V \quad I \quad V \quad I \end{array}$$

ワルツ第17番 KK IV b Nr. 11

$\frac{3}{4}$ ① ② ③④ ⑤ ⑥ ⑦⑧ ⑨ ⑩ ⑪⑫ ⑬ ⑭ ⑮⑯ ||: ⑰⑱⑲

a: I { IV V₇ I { VI { IV V₇ I { VI { IV V₇ I { VI { IV V₇ I a: V₇ I V₇

C: { II ↗ a: { I ↗ C: { II ↗ a: { I ↗ C: { II ↗ a: { I ↗ C: { II ↗

⑳㉑㉒㉓㉔||: ㉕ ㉖ ㉗㉘ ㉙ ㉚㉛ ㉜ ㉝㉞㉟㊱㊲㊳㊴|| ㊵ ㊶ ㊷㊸

I V₇ I V₇ I I { IV V₇ I { IV IV V̇₇ { V₇ V₇ I V₇ I V₇ I V₇ I a: I { IV V₇ I

C: { II ↗ a: { I ↗ A: { V₇ ↗ C: { II ↗

⑴ ⑵ ⑶⑷ ⑸ ⑹⑺⑻⑼⑽ ⑾

a: { VI { IV V₇ I { VI IV V₇ I I¹ II² V₉ I

I: { I ↗ C: { II ↗ a: { I ↗

ワルツ第18番 ^{註38)} KK IV b Nr. 10

$\frac{3}{4}$ ① ② ③④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨⑩⑪⑫⑬ ⑭⑮⑯|| ⑰⑱ ⑲⑳㉑ ㉒

Es: I V₇ I V̇₇ VI¹ V̇₉² I² V₇ V₇ I V₇ I V̇₇ IV¹ IV² I² V₇ I V̇₇² V̇₉³ V̇₉² V₉ I V̇₇¹ V̇₇²⁻³ V̇₉³ V̇₉²

⑳ ㉑ || ㉒

V₇⁶ V₇² I I

ワルツ第19番 KK IV a N. 14

$\frac{3}{4}$ ①②③④⑤⑥⑦ ¹⑧ || ²⑧ ||: ⑨⑩⑪⑫⑬⑭⑮ ¹⑯ || ²⑯⑰⑱⑲⑳㉑㉒㉓ ||: ㉔ ㉕

Es: IV I V₇ I IV I V₇ I I V₇ I V₇ I V₇ I V₇ I I IV I V₇ I IV I V₇ I { VI I²

V c: { I ↗

⑳㉑ ㉒ ^{註39)} ㉓ ㉔ ㉕ || ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ^{註40)} ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ || ㊹ ㊺ ㊻

V I I² V Es: I IV² I V₇ I C: V₇² I IV I V₇ I IV I V₇ I I I I V₇ I I V₇ I IV I V₇

㉼ ㉽ ㉾ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿ ㊿

I IV I V₇ I V̇₉¹ I² V₇ I V̇₉¹ I² V₇ I IV I V₇ I IV I V₇ I

^{註41)} 以上でワルツ全19曲和音分析を終わるが、少し補足しておきたい。
 第一に、ワルツ第9番、第10番、第11番、第12番はヘンレ原典版では自筆譜によるものが **a** で Fontana 版が **b** でそれぞれ収録してあるが、ここでは自筆譜の版を分析した。両方の版を詳し

く比較分析する事は興味深い事ではあるがその事が現在の主眼ではないので触れない。が、あえて一言いえば、その違いは和音のみならず形式や音型等を Fontana が当時の“今様”にアレンジしている事がよく理解できるが、やはり Fontana の“編曲”には違いない訳で我々はショパンの自筆譜の方を取り扱うべきである。この事は理論家のみならず演奏家及び愛好家も知っておかねばならない事である。

第二に、序でも触れたがワルツの様式上の和音把握についてである。多少の問題点を残しているが、第1拍の Bass 音の意味はフレーズの理解とも関連しているし、ピアノという楽器の特性(延長ペダルの使用)を理解しながらその支配領域が考慮されなければならない。この問題はショパンが作曲した他の舞曲(ポロネーズ、エコセーズ、タランテラ、ボレロ等)の分析をしていづれまとめるつもりである。

註

- 1) 中山孝史 1994 F. ショパン, 全作品の和声分析, 熊本大学教育学部紀要, 第43号, 人文科学 pp. 29~62.
- 2) ショパン全集(日本コロムビア発売, OB7133~7152)の解説書内の完全作品目録の12~14ページ. ショパン全集(ポリドール発売 FOOL29015/29)の解説書96ページ.
- 3) マズルカに於いては旋法性の問題や、機能 and 声の崩壊の兆しが一部見られたが、この事で調性有り、無しに言及する事は今の時点で別問題の事であり、全作品を分析した結果立ち向かう事とする。
- 4) 舞曲以外の4拍子等の曲に於いても同様な伴奏形を見る事ができる。
- 5) ショパン ワルツ第7番 op 64 の2の第31小節等。
- 6) ショパン ワルツ第9番 opus posth 69 Nr 1の第17小節~18楽節で $V_7^3 - I$ の形があるが、ここであっている意味とは違う。Fontana版では $V_7^3 - I^1$ の形に修正(?)してある。
- 7) 実際、音楽作品の中でも古典派の協奏曲のカデンツァの前の終止和音は I^2 で代表される。
- 8) 上声部は第2拍まで旋律装飾を伴ったけい留和音が有るが、第3拍に解決した II^1 を生かす為、 $II - II^1$ とする。以下同型の所は同様な処理を行う。
- 9) この和音は従来②小節と④小節の I にはさまれたしゅう和音として、あるいは単独に I への倚和音として扱われているが、この和音は I との結びつきが強く何らかの記号を考えた方が解り易いと思われる。今後の課題とする。
- 10) 形態は $V_7^3 \cdot IV^1$ であるが B 音 (Es dur の属音) を保続音とする半音階的経過和音とする方が合理的である。186小節も同様。
- 11) 第247~250小節までの各小節の第2拍及び第3拍の Bass 音 Es 音は保続音である。
- 12) 左手伴奏部の H 音は Ces 音であるべきである。
- 13) ここの3小節は As dur の属音 Es 音を保続音とする経過和音 ($VI^1 - V^1 - IV^1$) と見るべきである。
- 14) Bass 音 A 音は IV_{+6} の構成音であるが形態は保続音とする方が前後のつながりを生かして合理的である。以下同型の所は同様。
- 15) 序で述べた通りここの Bass 音 A 音は第3拍まで影響しているとする。
- 16) 第3拍目で Sop. C 音で a moll を予感させている。136小節も同様である。
- 17) この小節の第3拍目は譜面上の形態は IV^1 であるが、Bass 音 F 音は支配していると考えて IV^2 と記す。以下同型の所も同様である。
- 18) Bass 音 F 音は第149~150小節支配しているとする。第145~146小節の同様の音型を参照されたい。又第153~154小節も同様に考える。
- 19) この小節1.5拍までは V^{+6} の和音であるがこの旋律進行を見ると倚和音と見なす方が合理的なのでここでは倚和音として V_7 のみ記す。
- 20) 左手の伴奏和音は譜面上は無いが実質的に前の小節の和音が延長されているとする。以下同型の所は同様に考える。

- 21) Bass 音 Es 音はIIIの和音構成音であるが前後の流れから見て保続音と表記した方が解り易い。
- 22) 左右両手に出てくる C-Es-G 音の和音は前の小節の C-Es-Fis 音と同様に経過和音と見なす。
- 23) 第 37 小節の Bass 音 As 音は第 38 小節まで支配している。
- 24) 今までこの和音についてはドミナントの連続という事で $\overset{v}{V}$ と記していたがこの場合前の和音が $\overset{ii}{II}_7$ であるためII度調の意識をはっきりさせるために $\overset{ii}{V}_7$ と記す。
- 25) Bass 音 Cis 音は第 3 拍目まで支配していると考え。
- 26) Sop. の His 音は理論的には C 音であるべき所。以下同型の所も同様。
- 27) 前小節からタイで伸ばされた Sop. D 音は Fis dur の $\overset{v}{V}_9$ の第 9 音としてこの転調の重要な音であるのでここでは属九の和音として記す。同型である第 140 小節の Fes 音 (E 音) も同様に扱う。
- 28) Fes 音は E 音であるべき所。
- 29) Fassung nach der Eigenschrift を使用する。
- 30) 左手伴奏部の H 音は Ces 音であるべき所。
- 31) Fassung nach der Eigenschrift を使用する。
- 32) Bass 音 H 音は $\overset{ii}{II}_7$ の和音の構成音であるが、前後の保続音の流れを生かすために、 $\overset{ii}{II}_7$ とするよりも $\overset{ii}{II}_7$ とする方が良い。
- 33) Fassung nach der Eigenschrift を使用する。
- 34) 同上
- 35) 短調に於いては通常和声短音階に基づき三和音等を構成して記号化してあって旋律短音階、自然短音階で構成された和音に対しては一般的な記号はない。(ドーリアの和音 +IV が存在する)ここでは $\overset{I}{I}_7$ の導音が半音下った和音になっているため $\overset{I}{I}_7$ の記号で示す。
- 36) Bass 音 As 音は第 3 拍目まで支配していると考え。
- 37) 第 3 拍目の Bass 音 Bes 音は A 音であるべき所。
- 38) この曲には“ワルツ”という標題が無く、Sostenuto の表示だけであるが、ヘンレ版の中ではワルツの 18 番として取められているのでここで分析する。
- 39) Bass 音の Es 音は第 3 拍目まで支配していると考え。
- 40) Bass 音の Es 音は次の第 42 小節まで支配していると考えの方がこのフレーズの意味が生きてくる。それ故第 41 小節第 3 拍目の 16 分音符に出てくる $\overset{I}{IV}$ の和音はししゅう和音とする方が理にかなっている。第 45~46 小節のフレーズも同様である。
- 41) 音楽之友社出版の音楽辞典 (1991 年 10 月 25 日新訂第 1 版第 1 刷発行) のショパンの作品目録にはワルツは 20 曲示してある。(現在分析したヘンレ版 19 曲以外に Hdur の 1 曲が示してある。)しかし、筆者が行っているショパン全作品の和音分析はまず原典版から始める事があるので、今後ヘンレ原典版に収録されていない他の曲も含めてまとめて分析して行く。